

平成 29 年度 長与町学校評価（共通の評価項目）報告書

長与町立長与第二中学校

1 共通項目

項目	重点目標及び取組内容	評価	分析及び改善策
かしこい頭を	確かな学力の育成 ①「めあて、振り返り」の完全実施 評定3以上8割 ②学習習慣の定着	3	【評価の妥当性】 ・評価は妥当である。 【意見】 ・生徒授業評価アンケートでめあて提示 3.9 ・個に応じた指導がながよ検定等で成果として表れている。 ・まとめの実施と深い学びをさらに研鑽してほしい。
	指導力の向上 ①深い学びの授業の実現 ②個に応じた授業の実現	3	
やさしい心を	基本的な生活習慣の定着 ①あいさつの励行 ②時間を守る姿勢づくり	3	【評価の妥当性】 ・アンケート結果が現状を反映していないのではないかと疑問が出され、調査項目の質問文の再検討が必要との意見があった。 【意見】 ・協調性と自己肯定感、愛校心と自己有用感での質問が限定的なように思われる。自己肯定感や有用感を広い視点で質問する工夫があるとよい。
	心の教育の充実 ①道徳教育の充実（思いやりの心） ②夢や志、自己実現の意欲の育成	3	
	豊かな人間関係づくり ①協調性と自己有用感の育成 ②愛校心と自己肯定感の育成	3	
たくましい身体を	基礎体力の向上 ①心と体を鍛える意欲の育成 ②部活動の活性化	3	【評価の妥当性】 ・評価は、妥当である。 【意見】 ・「ホーム・イチャレンジ」を小中学校で連携して実施したことは良いことである。
	健康・安全教育の推進 ①アレルギー対応と生活習慣の指導 ②アレルギーに関する安全指導の徹底	3	
情報発信と連携	広報活動の充実 ①学校だよりや学級通信の発行、ホームページによる広報	3	【評価の妥当性】 ・評価は妥当である。 【意見】 ・ホームページは、よく公開され、学校の様子を週2回程度紹介している。 ・ホームページの視聴率が低いので、視聴率を上げる工夫が必要である。
	保護者・地域との連携 ①PTA活動の共同推進 ②地域ボランティアとの協力と健全育成	3	
学校運営全般	教育環境の整備 ①働き甲斐のある職場環境の構築 ②施設設備の安全管理の徹底	3	
	特別支援教育の充実 ①実態把握と対応の策定及び共通理解と共通実践の充実	3	

2 学校評価のまとめ（進捗状況）

（1）成果

- ① 学年部会の連携の充実により、基礎学力定着と生徒指導対応力が向上
- ② 個別指導重点化と深い学びの全員研修で、基礎学力が向上
- ③ 欠点や課題の共通理解と対応策の共通実践により成果を実感

（2）課題等

- ① 生徒の道徳性、思いやりの心の涵養
- ② 不登校や学級不適應など、要配慮生徒とその保護者への対応
- ③ 働き方改革（超過勤務の改善）

3 学校関係者評価

2月21日に開催した学校支援会議において、学校評価について評価・検討を行い、以下に示す見解を得た。

- 学校評価は妥当であるが、一部、現状を十分把握できない質問項目があるので再検討してほしい。
- さらに学力の向上を目指してほしい。
- 思いやりがあり、やる気に満ちた学校をつくってほしい。

4 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

- ①心豊かで人間力あふれる生徒の育成……問題解決力のある生徒の育成
 - ・道徳授業を核にして生徒の道徳性と協調性を向上させ、様々な問題を自分の事として考え、その解決を目指して主体的に努力する生徒を育成する。
 - ・表現力向上の成果を、さらに共働的・主体的学習に生かしながら支持的風土を育て、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業研究の中で探求力、問題解決力を磨く。
- ②要配慮生徒（対人関係）への対応
 - ・要配慮生徒の綿密な指導計画の作成と指導目標の共有
 - ・チームによる指導体制の構築と強化
 - ・教員・生徒・保護者等多方面からの情報収集が可能となる環境づくり
- ③地域・家庭との連携と働き方改革
 - ・PTA総会や各会議の実施日程や内容の見直しと参加状況の改善
 - ・保護者や教師の負担感改善と活動内容の質の向上
 - ・積極的な通信発行による信頼の構築
 - ・情報モラル向上と危険回避に関する研修会の実施

5 いじめ問題に関する取組の実施状況

評価項目	評価観点等の内容	評価	第三者評価
1 日頃の児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に生徒の言動を観察し、生徒が示す小さな変化や危険信号を見逃さないように努めているか。 生徒が安心・安全に学校生活を送ることができているか。 	4	【評価の妥当性】 ・ 妥当である 【意見】 ・ 何事も、まず「いじめなのでは？」という視点を持って指導にあたっている点は良い。 ・ いじめへの対応は、これからも丁寧に行ってほしい。
2 未然防止や早期発見)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にアンケートを実施したり、日々の観察で問題の把握に努めているか。 ささいな兆候であってもいじめとの疑いを持って早期発見に努めているか。 	4	
3 いじめへの迅速適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> いじめの通報・発見があった際に、速やかに関係教職員に連絡し、情報を共有、対応しているか。 生活アンケートや個人面談で正確な情報収集を行い、生徒の寄り添う指導を行っているか。 	4	【評価の妥当性】 ・ 妥当である 【意見】 ・ 社会全般において、いじめで「死ぬ」という選択肢が出てきてしまっていることで学校の対応が難しくなっている。 ・ 生徒対応、保護者対応を丁寧にあたるのが大切なので、これからも取組を継続してほしい。
4 組織的な取組	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会を中心として、機動的、組織的に対応する体制が整備されているか。 定期的なアンケート結果や欠席日数等を各種部会で検証し、対応しているか。 	4	
5 方針等の共有 (保護者・地域)	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に基づく取組や具体的な年間計画を明確にしているか。 いじめ防止基本方針や対策、いじめ発生時の対応の在り方について、保護者、地域と共通理解を図っているか。 	4	
6 その他 委員会活動の取組	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策特別委員会の定期的な実施と活動の活性化が図られているか。 	4	【評価の妥当性】 ・ 妥当である 【意見】 ・ 生徒たちによる「あったかメッセージカード」の取組は、ほのぼのとしており、とてもよい取組だと思う。ぜひ、継続してほしい。